

方PHSは前年同月比130.9%増の11万5,000台と新しい料金プランの実施にむけ、幅広いラインナップを準備していることなどから4ヶ月連続プラスとなった。市場では今年度に入って下げ止まり

感が出てきており、11月までの累計では前年比7.8%増とプラスを維持している。市場回復度合いを判断するために、年末商戦から春商戦に向けての出荷動向を注視していく必要がある。

車堅調で1月のアルミ・銅も需給・価格底堅い

橋本健一郎氏(橋本金属)は、1月の銅とアルミの原料需要と価格の見通しについてレポートをまとめたので紹介する。アルミの原料需給は12月の国内自動車販売が統計以来の最低水準を継続するも12-2月の自動車生産計画が前年とほぼ同じであることから内需の不調を輸出がけん引するのでは。輸入塊も上海シグマが1月 現在で2,400ドルと大幅上昇し調達難が予測される。年末までは自動車販売不振不安やエコポイント終了による家電販売不振や円高などマイナス要因が多く供給過剰になるとの見解が多数であったが、中国の自動車販売が1,800万台と前年比30%増と大幅上昇したことなどから一転したため調達をしぼっていたメーカーはひっ迫状態に。

LME価格については銅の史上最高値やETF(上場投資信託)につられる形でアルミも2,500ドル前後まで上昇したが、再び欧州懸念が台頭してることや、ここ最近の急伸の調整が入ることから2,350-2,500ドル台を予測。価格が需給に左右されるアルミスクラップに関しては12-2月

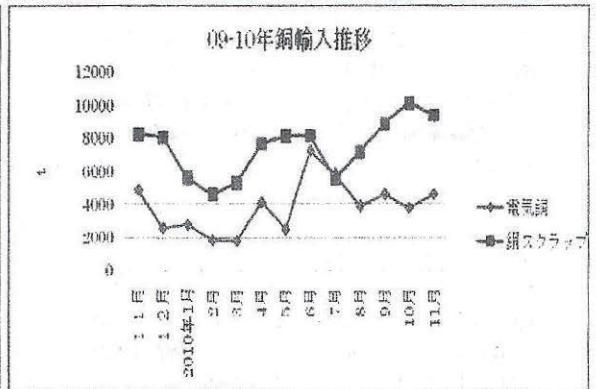
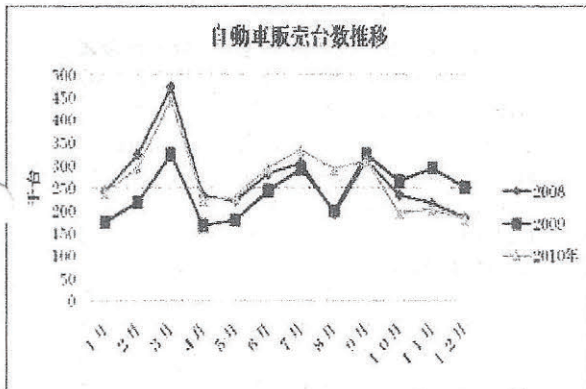
期の自動車生産計画が前年並みだったことから内需不振を輸出がカバーする。また輸入塊の高騰をうけて、12月後半価格から据え置きから5~10円上げ予測。

次に銅原料需要に関しては、メーカーは前月に続き12月中に建値84万、LME9,800ドルと最高値を付けたことによる売り込みが殺到し在庫は潤沢。米中経済の好調をうけて需要増加を予測するも、足元在庫の飽和や高値警戒感からメーカーは買い控え、買い止めが続く。

銅価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは長期的には鉱石不足による供給懸念やETFにより投機資金が入りやすい状況にあり上昇が予測されるが、中国の利上げ懸念や急騰による調整感からLMEに関しては下値9,000ドル上値9,500ドル。銅・銅合金スクラップに関しては銅建値で79-83万円程度と予測している。

12月発表の自動車生産計画

	12月	1月	2月
計画台数	76万6千台	75万1千台	83万9千台
前月比	-4.50%	-2%	11.70%



企業 JXサンフラワーズが皇后杯3年連続16回目優勝

JXグループの女子バスケットボール部「JXサンフラワーズ」が第77回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会で3年連続優勝を果たした。9日に国立代々木競技場第一体育館において行なわれ、富士通に76対68で勝利し、16回目の優勝を果たした。大会ベスト5には、大神雄子選手、吉田亜沙美選手、渡嘉敷来夢選手が選ばれた。なお、第12回Wリーグにおいても、開幕以来16戦全勝とリーグ1位の成績で、3年連続14回目の優勝に向けて勝ち進んでいる。

建内保興氏(JXホールディングス株式会社名誉顧問・元日本石油株式会社(現JXホールディングス株式会社)代表取締役会長・代表取締役社長・元石油連盟会長)7日、急性心不全のため自宅にて亡くなられた。享年95歳。葬儀は9日に近親者のみで執り行われた。喪主は妻の貞子さん。お別れの会(日時・場所未定)を執り行う予定。